

自動車アセスメントロードマップ(2020)

			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度～		
より安全な自動車の普及対策	予防・衝突等総合安全性能		普及方策の検討								
	予 防 安 全 性 能 評 価	対車両	基準化を見据えた試験・評価方法検討	試験・評価方法の再検討(義務化に伴う見直し)							
			対歩行者(昼間)	基準化を見据えた試験・評価方法検討	注)国産車2021年11月～、輸入車2024年7月～						
		被害軽減ブレーキ	対歩行者(夜間・街灯あり)							2018年度～	
			対歩行者(夜間・街灯なし)							2019年度～	
		対自転車	試験・評価方法検討	評価方法検討/予備試験	予備試験						
		交差点			調査・研究	試験・評価方法検討/予備試験		予備試験			
	高機能走行用前照灯		2018年度～								
	ペダル踏み間違い時加速抑制装置		2018年度～	試験・評価方法再検討							
	車両後方視界情報提供装置		2015年度～								
	車線逸脱警報装置・車線逸脱抑制装置		車線逸脱警報装置は2014年度、車線逸脱抑制装置は2017年度～								
	その他運転支援技術(夜間前方歩行者注意喚起装置、被害軽減ブレーキ[後退時歩行者]、被害軽減ブレーキ[対向車]等)					追加新規項目検討		調査・研究(追加項目)	試験・評価方法検討(追加項目)	予備試験(追加項目)	
	予防安全性能評価全体の総合的な安全性能		普及期の評価方法から競争期の評価方法への変更検討	普及期の評価方法から競争期の評価方法への変更検討 新規項目導入の際の評価(考え方)の検討							
	衝 突 安 全 性 能 評 価	乗員保護	前面(フルラップ)	1996年度～	高齢者を考慮した閾値等への変更(助手席)		前面(MPDB)と併せて試験・評価法再検討				
			前面(オフセット)	2000年度～	高齢者を考慮した閾値等への変更(後席)						
		側面	前面(MPDB(含THORダミー))			調査・研究	試験・評価方法検討/予備試験		予備試験		
			側面	1999年度～							
		後面頸部保護	試験・評価方法再検討								
		助手席・後席シートベルトリマインダ	試験・評価方法再検討								
	歩 行 者 保 護	頭部	2003年度～								
脚部		2011年度～			調査・研究(aPLI)	試験・評価方法検討(aPLI)	予備試験				
その他衝突安全技術(スモールオーバーラップ、ポール側突、後突燃料漏れ、後席の頸部保護、ファーサイド側突等)					追加新規項目検討		調査・研究(追加項目)	試験・評価方法検討(追加項目)	予備試験(追加項目)		
衝突安全性能評価全体の総合的な安全性能											
事故被害軽減性能評価	事故自動通報装置	次世代/法規対応試験・評価方法検討	試験・評価方法変更				調査・研究(次世代)	試験・評価方法検討(次世代)	予備試験(次世代)		
より安全なCRSの普及対策	CRS安全性能評価	前面衝突時安全性能	2001年度～								
	啓発	使用性	2001年度～								
		i-size対応CRS等普及方策の検討									

※1 文字色 赤字: 前回ロードマップに追記、または変更したもの。

※2 セル色 水色: 新規試験項目の調査・研究等、緑色: 評価(実施済、実施予定、変更予定を含む)、白: 未対応

※3 見直し対象の項目を検討するサイクルは、基本「見直し対象項目・スケジュール検討→試験・評価方法見直し検討→試験・評価方法変更」という3年単位で行うものとする。

※4 適宜見直しを行うため変更があり得る。